

6 意見交換（グループ討議）議事概要

A グループ

（〇〇委員）

- ・施設の立地場所をどこにするかが大切。市民みんなが行きやすい場所を考えるべき。個人的には国道沿いがよいと考えている（よい土地はないかもしれないが）。
- ・社会教育施設は複合化を前提とすべき。温水プール（ふるも）も含めて検討すべき。
- ・他に市民が求めている機能としては温浴施設がある。
- ・施設の立地場所、機能・規模など、社会教育施設の利用団体、若い人、主婦の人の声を聞くことが大切。

（〇〇委員）

- ・総合計画のなかで留萌市の中心についての議論はあったのか。

（〇〇委員）

- ・総合計画のなかでは中心を決めるのは大切だと議論されたが、具体的にどこが中心かまでは決められなかった。

（〇〇委員）

- ・社会教育施設の複合化にあたっては、あまり使われていない「ふるも」も含めて議論してほしい。
- ・市民がどこに住んでいるかも含めて拠点はどこなのか検討してほしい。JRが廃線になったら、バスも駅前にかなくなるかもしれない。駅前ばかりが交通拠点とはいえない。
- ・JRが廃線になったとして、線路用地だけでは十分な土地がないのでは。
- ・人口が減少し、高齢者が多くなるなかで、社会教育施設は複合化させた方が管理も効率的だし使いやすい。
- ・複合化の検討にあたっては、文化センターと図書館、スポーツセンターとプールといったように、機能ごとに施設を複合化する方法もある。

（〇〇委員）

- ・施設が一か所にある、バスでアクセスできることが大切。
- ・移転後は文化センターを防災備蓄庫とすることもできるのでは。「ふるも」に防災備蓄機能を持ってくるという議論もあるが、文化センターの活用を考えては。
- ・駅周辺は津波や洪水の浸水区域となっている。なぜそこに拠点をつくるのか議論が必要。浸水しても大丈夫なのかどうか、施設の作り方も含めて示す必要がある。

（〇〇委員）

- ・さまざまな全道大会を開催するとなると、400人規模の受け入れ施設が必要。現在、スポーツセンターを目的外使用して式典などを行っているが、留萌市にもコンベンション機能があるとよい。
- ・深川市のプールには小規模だが浴室もある。スポーツセンターにもかつて小規模な浴室とサウナがあった。新たな施設内、または近隣に温浴施設があってもよい。

（〇〇委員）

- ・留萌市で合宿をする際に温浴施設がないと聞いている。

(〇〇委員)

- ・富良野マルシェでは、出店者を指導する仕組みがある。美味しくなければ出て行ってもらうこともあると聞いている。留萌の道の駅にもチャレンジショップがあるが、ノウハウを教えるとともに新陳代謝を図ることも必要。
- ・駅周辺に市営住宅を建設し、見晴町など高台に住んでいる独居高齢者を集めることを考えてもよいのでは。
- ・「ふるも」の今後のあり方はどうなっているのか。

(〇〇委員)

- ・「ふるも」に防災倉庫機能を付加する取組は進んでいる。子どもの預かり施設もある。

(〇〇委員)

- ・「ふるも」は駐車場が不便。施設を作るときに市民の声を聞いていたら、こうはならなかったと思う。
- ・施設整備がまちのさまざまな課題解決につながる青写真も必要。
- ・船場公園が津波・洪水の浸水区域となっているといっても、留萌振興局のあたりでもそんなに変わらないのでは。
- ・船場公園では、冬期に「やん衆どすこい祭り」を開催していたが、地吹雪がひどかった。新しくできた市立病院もなぜ入口が西側にあるのか。留萌では、西からの吹雪を考慮した配置とすることが必要。
- ・バスターミナルの構想もあったと思うが、現在も駅前までいくのが大変との声があるのに、駅前にバスターミナルをつくるのがよいのだろうか。
- ・駅周辺には老朽化した市営住宅も結構残っており、ロケーション的にもよくないのでは。
- ・施設をつくる際は、ミスドやローソン等のお金を稼げる施設も誘致すべき（企業誘致の話ともからめて）。

(〇〇委員)

- ・駅周辺にこだわるべきか。

(〇〇委員)

- ・駅前の商店街としてはどのように思っているのだろうか。

(〇〇委員)

- ・駅前の商店街のオーナーは、駅前でなく他所で稼いでいるのであまり困っていないのでは。

(〇〇委員)

- ・駅前に商店があるからといって、JRの利用者に頼っているわけではない。そのためJRが廃線になっても直接影響があるわけではない。

(〇〇委員)

- ・羽幌町などでは、旧駅前にバスターミナルを設置しているが、あまり便利とはいえないのでは。

(〇〇委員)

- ・バスターミナルをどこにつくるべきかについても議論すべきではないか。

(〇〇委員)

- ・検討会議だけでなく、市民ワークショップなどを開いて、若い人や女性の意見など幅広く聞くことが重要。

(〇〇委員)

- ・市民ワークショップを開くとして、参加者の集め方が課題。検討会議メンバーの横のつながりからいろいろと声をかけていただくなど広がりを持たせたい。

(〇〇委員)

- ・ワークショップの運営は行政ではなく民間（市民）にまかせて、自由闊達な意見交換ができるようにすべき。

(〇〇委員)

- ・市民ワークショップはやるべきと思う。

(〇〇委員)

- ・最後に、本日いただいた意見をまとめさせていただく。
- ・まず、施設の立地場所をどこにすべきかの議論が大切である。20年～30年先を見通して市民みんなが集まりやすい場所（バス交通を含め）であることが前提。
- ・社会教育施設の複合化は運営の効率化の観点からも必要（「ぶるも」を含めて検討すべき）。
- ・その他の機能として、温浴施設、コンベンション機能が求められる。
- ・また、施設整備がまちのさまざまな課題の解決につながるといった青写真が必要。
- ・検討にあたっては、市民の声を広く聞くことが大切（ワークショップも含めて）。
- ・駅周辺で検討するのであれば、津波・洪水の浸水想定（浸水深）を踏まえた議論をすべき。
- ・高台地区の独居高齢者が集まって住めるような住宅の整備も検討しては。
- ・施設整備にあたっては、コンビニなどの収益施設も必要。

(以上)

B グループ

(〇〇委員)

- ・検討会議の設置にあたって、利用者の意見を徴収する気構えがない。こういった会議があると聞いて、あわてて公募に応じたが、本来（文化会議として）市長推薦で呼ばれなければおかしい。体育協会は〇〇さんが別の会議に出ている声がかかったが、本来副委員長とか副理事長を呼ぶべきである。
- ・会議の前に市で検討した結果資料が送られてきたものを見て、一安心した。私たちが要望しなければいけないような内容をきちんと検討してくれている。中身は足りない部分もあるが、正しい方向になっている。

(〇〇委員)

- ・スポーツセンター、文化センター、公民館の利用者としての文化会議の理事に声掛けしなかったのは、お詫びする。

(〇〇委員)

- ・駅前に立地誘導としているが、駅前とか道の駅と一体とか言っているが、それが分かる地図がない。道の駅から留萌駅にかけてイメージできる地図を付けてほしい。どのような区域の取り方をすると面積がどれぐらいになるのか等を示してほしい。

(〇〇委員)

- ・次回には分かりやすい地図を用意するよう事務局に要望しておく。

(〇〇委員)

- ・体育館と文化施設を無理やり一緒に作る必要はない。一緒にすると混乱する。今ボイラーが共用となっているが、一つで賄うのがいいのか、それぞれ単独でボイラーを設けるのとランニングコストとしてどちらがいいのか。建設費も大きいのを一つ建てるのと、小さいのを3つ建てるのと、どちらがいいのか。総事業費、ランニングコストの面で何が有利かを示してほしい。
- ・市役所の建替えに3.11関連の起債は？

(〇〇委員)

- ・今年までに実施設計を終えないと使えない。場所もどこに建てるか議論が必要。駐車場に建てれば簡単だが、それでいいのかどうかというのものもある。庁舎建設の起債は国からの交付税はほぼ入らない施設で借金となる。社会教育施設であれば70%国から戻ってくるので、財源的には有利。

(〇〇委員)

- ・庁舎と社会教育施設の両方の検討を進めることになると負担はないのか？

(〇〇委員)

- ・社会教育施設と庁舎を一度に建てると、市の財政力を超えてしまう。事業はならしていかないと起債の償還の部分では厳しい。

(〇〇委員)

- ・災害が来た時に、庁舎が維持できるのかというのが気になる。社会教育施設は市民の利用度が高いので理解できるが、庁舎が建っているところの地盤はいいが建物が耐震化されていない。

(〇〇委員)

- ・平成27年度まで財政健全化計画をやっていた市として、いまだつちを優先させるか、となる
と市内では、市民がよく使う施設でかつ財源的にも有利な社会教育施設を優先しようとなっ
た。

(〇〇委員)

- ・道の駅の利用者数について、コロナ禍の中で近隣町村の海水浴場は閉鎖されていたことによ
って(留萌市の海水浴場は開設)、利用者が伸びたのではないか。コロナが無ければどれぐら
いの入込を想定していたのか。

(〇〇委員)

- ・そこは難しいところで、コロナ禍でアウトドアに対する安心感があって、キャンプ場の利用
も伸びていると聞いている。
- ・小平や羽幌、石狩の海水浴場が閉鎖、道の駅がオープンし、高規格道路も留萌まで延伸し、
さらに土日の天気もかなりよかった。なぜこんなに利用が伸びたのかの分析はできてない。
来年どうなるかも含めて、精査していきたい。

(〇〇委員)

- ・市内飲食店への効果波及があったということで、商店街にとってもよかったと思う。社会教
育施設の配置についても、飲食店街との連携を考えていくのかどうか。

(〇〇委員)

- ・社会教育施設と飲食店街との連動については、道の駅と留萌駅の間には増毛線の跡地がある
ので、例えばそこを連絡通路として市道にして、バスを走らせることも考えている。
- ・社会教育施設と飲食店街との連動よりは、道の駅との連動を考えていきたい。駅前に民間施
設を誘致するとか、そうなったらまた変わってくる。

(〇〇委員)

- ・新しい道の駅が出来て、JRがなくなる前提だが、これからはバスを使う頻度が高くなる。
バスターミナルがない。都市間バスは中央バスと沿岸バスで違う場所から出ているので、そ
ういったバス乗り場が社会教育施設の近くにあつたらいい。バスを利用される方の利便性を
考えると助かるのではないか。いろんな街に住んできたが、自宅に帰るときはいつもバスを
使っている。この規模の街にしては、非常にバスの使い勝手が悪い。道路基盤は整っており、
高速道路も札幌とつながっているが、多くの場所に停まるので時間が非常にかかる。JRが
なくなった後はバスを第一に考えるべき。

(〇〇委員)

- ・事前に送られてきた資料を見て、市としては社会教育施設を駅前に作りたいのだな、という
のは初めて分かった。駅前の再開発をどうするのだ、という議論があつた。駅がなくなるな
らバスターミナルが必要。そのときはJRがどうなるかは、まだはっきりしていなかった。
公園をどう使うか、そのときには道の駅構想も出ていた。副港との連動という議論もあつた。
そういうことまで含めて考えた方がいい。
- ・今市としては言えない部分があるのだろうけど、駅の跡地をどういうふうにするのか、土地
は譲ってもらえるのか格安で買い上げるのか、線路の用地がどういうふうになるのか、それ
によって道の駅との連動性や施設の配置も変わってくるだろうし、言える範囲で情報を出して
ほしい。

(〇〇委員)

- ・増毛線線路は無償提供頂く。線路は市で撤去するが、その費用はJRが補填する。補填費用は地域の振興費用として事前に頂ける。線路の安全対策に係るものはすべてJRから頂ける。留萌線が廃線になった場合も同様になると思う。
- ・増毛線については、地域の振興費用として1億円ほど頂けるということになっていて、既に3,000万円ほど頂いている。

(〇〇委員)

- ・古い駅舎はそのまま残されても困ると思うが、撤去して更地にして返してくれるということで考えていいのか。

(〇〇委員)

- ・それは交渉事となる。例えば駅を撤去する費用をJRから貰うということは可能だと思う。

(〇〇委員)

- ・次回の会議には、駅周辺のどこを考えているのかが分かる地図を出してほしい。
- ・温水プールの今後は？

(〇〇委員)

- ・9月議会で、プール以外の部屋、畠中昭和と食品雑貨のマルセさんが入っているところは、市の防災倉庫として買い取る予算を計上した。これから契約を結び、買い取っていく方向性で動いていく。
- ・温水プールは、通年利用は止めて、夏場だけのプールとする。

(〇〇委員)

- ・防災倉庫だけではもったいない。

(〇〇委員)

- ・防災関連の8割バックの有利な起債を使えるという内部事情もある。

(〇〇委員)

- ・プールのトレーニングスペースのところは使いたいと思っている。

(〇〇委員)

- ・今そこは小規模保育施設(スマイル)に変わっている。トレーニング機能は、今は健康の駅とかスポーツセンターの一部に移している。

(〇〇委員)

- ・バレエの人たちが、練習場所が無くて困っている。小体育館ではバーと鏡がない。前はブルモがその役割を果たしていた。

(〇〇委員)

- ・庁舎の移転先として、留萌駅の近辺は防災上だめなのか？

(〇〇委員)

- ・ハザードマップ上の安全なところが基本。庁舎は現地が最適かと思っている。

(〇〇委員)

- ・体育館や公民館の跡地に市役所というのはどうなのか？

(〇〇委員)

- ・急傾斜地の指定があるのと、バス停からも遠い。

(〇〇委員)

- ・ 公民館かスポーツセンターのどちらかは現地（跡地）建替えでもいいのではないか。

(以上)

C グループ

(〇〇委員)

- ・まず、場所に関して考えていきたい。

(〇〇委員)

- ・駅周辺地区や船場は、水害に遭ったことがある。場所を考える際には洪水や津波について考慮したのか疑問に思った。

(〇〇委員)

- ・駅周辺地区は洪水や津波の際に浸水するが、地区全てが激しく浸水するわけではない。個人的には新たな施設は耐震基準を満たした建物となるため、2階以上に居る場合に流されるということはないと考える。
- ・市では、駅周辺地区を前提として考えている。コンパクトなまちづくりを進めていくためには分散している施設を集約する必要があるが、対応できる土地の選択肢がないことや地震や津波についても一定程度考慮して駅周辺地区への立地誘導を提案していると思われる。

(〇〇委員)

- ・市が駅周辺地区を検討箇所しているということは、地震や津波などについても調査など行っているものと思う。

(〇〇委員)

- ・船場町は埋立地ではなかったか？

(〇〇委員)

- ・るしんふれ愛パークの公園部分は、想定している最大の津波が来るとある程度浸水すると聞いているので、そこを防災の拠点とすることは難しい。

(〇〇委員)

- ・事務局の説明は、駅の裏ではなく、駅前への立地誘導とのことであった。

(〇〇委員)

- ・鉄道敷地などを活用することにより、駅前と駅裏の連携を考えている。

(〇〇委員)

- ・駅前に居住する立場からは、駅周辺地区への立地に賛成だ。

(〇〇委員)

- ・コンパクトなまちづくりや洪水や津波への配慮、駅前と駅裏の連携などを考えると、駅周辺地区への立地を前提とすることが妥当ではないかと考える。

(〇〇委員)

- ・まちの玄関口として、駅前のさびれ方は著しい。

(〇〇委員)

- ・駅周辺地区への新たな施設整備と道の駅との相乗効果により、駅前への集客も期待できる。新たな施設は、道の駅と一体となって駅周辺地区に賑わいをもたらす交流拠点として考えてきたいが、どのように考えるか？

(〇〇委員)

- ・バスなど交通の便について考えていった方が良い。

(〇〇委員)

- ・交通機能、バスターミナル機能を導入することは十分に考えられる。
- ・留萌線が廃止となった場合、鉄道敷地や JR 北海道からの協力金が活用できる他、バス転換も進められるので、バスターミナル機能は整備しやすくなる。

(〇〇委員)

- ・留萌は港と駅で栄えてきた経緯がある、現在、留萌線が廃線となりそうな中で、新たなまちの玄関口として駅周辺地区が良いと考える。
- ・社会教育機能を持つ施設を整備するならば、外でマーチングの練習をするなど船場公園の有効活用の可能性もある。

(〇〇委員)

- ・駅周辺地区に立地した場合、船場公園の活用の広がりや道の駅との相乗効果も期待できる。

(〇〇委員)

- ・将来的には、様々な施設を集約していく方向なのか？

(〇〇委員)

- ・これからの議論による。但し、財源の問題があるので、議論の結果が全て実現するとは限らない。実現に向けて、起債や補助金など有利な財源を検討していくこととなる。

(〇〇委員)

- ・中途半端な施設整備は良くない。やるのであれば徹底的に実施すべきだ。

(〇〇委員)

- ・現在の社会教育施設は、バス路線から離れているなど市民の交通アクセスが悪い。また、来街者のアクセスも難しい。

(〇〇委員)

- ・留萌高校や北光中学校など廃校の土地は活用の可能性はないのか？

(〇〇委員)

- ・留萌高校は道から土地取得費用が非常に高額と聞いている。ある程度実施内容が決まった上で土地取得の是非を検討することが必要であるので、現段階での検討するのは難しい。
- ・北光中学校は、地区コミュニティセンターとして活用は可能と聞いている。それをどのように活用するかは地区住民と合意を取りながら検討していく必要がある。

(〇〇委員)

- ・どのような施設を集約するか、引き続き活用する施設などの議論も必要だ。まずは、財源を考えずに集約が必要な機能について考えるという方法もある。
- ・東川町の例では社会教育施設に図書館が設置されており、子供の声が聞こえるなど賑わいの拠点となっている。

(〇〇委員)

- ・駅前周辺地区に立地する場合、駅側にスポーツセンターがあれば、船場公園を活用できるので便利だ。

(〇〇委員)

- ・駐車場がどの程度、確保できるのか。車が利用できないと利用が億劫になる。

(〇〇委員)

- ・鉄道敷地などを活用するとある程度の面積は確保できると思う。
- ・現在の車の利用環境を考慮した駐車場整備が必要だが、ドア・トゥ・ドアとなるような整備

は難しい。

(〇〇委員)

・留萌には、コンベンション施設がない。思い切って立派な施設を整備することも考えられる。

(〇〇委員)

・今後の人口減少を見据えた適正規模の施設整備が必要だ。

(〇〇委員)

・駅前周辺地区への立地は賛成だが、どの施設を建て替える必要があるかという視点での検討が必要だ。

(〇〇委員)

・施設の老朽化状況や利用状況を考慮した場合、文化センター、中央公民館、スポーツセンターは建て替えるが、勤労者体育センターはそのまま活用するなどの方向も考えられる。

(〇〇委員)

・青年会議所では1,000人規模の大会を開催する。大規模イベントの想定も必要ではないか。

(〇〇委員)

・最大規模に合わせて施設整備を行うと維持管理費が大きくなる、標準的な利用を想定して計画した方が良い。

(〇〇委員)

・資料3について、駅を正面とした図があるとイメージしやすい。

(〇〇委員)

・活用を想定しているエリア全体の図面がなければ議論しにくい。

(〇〇委員)

・現在整備を想定している位置図を作成するよう事務局に要望する。

(〇〇委員)

・高齢者がアクセスしやすく、利用しやすく、集まりやすい施設とすることが望ましい。サロンの機能を導入することも考えられる。

(以上)

D グループ

(〇〇委員)

- ・場所については、駅前前提ではなく自由に話してよいか。

(〇〇委員)

- ・駅前前提ではなくてよい。説明の材料として提示したと考えてほしい。

(〇〇委員)

- ・今回の検討会議でのテーマはどこまでか、(あくまでも社会教育施設について、もしくは街全体の未来を考えた上での討論なのか)を決める必要がある。

(〇〇委員)

- ・学校数も生徒数も減少傾向であることから、社会教育施設の枠組みの中に、学校を入れるべきではと感じる。アメリカでは、学校内に社会教育施設が入っている例が多くある。例として述べた、学校についても今回の検討会の内容と深く関わっている、また、それ以外の駅前再編等もかかわってくると思う。様々な問題に繋がっていることを理解しながら、意見を発する場になれば。
- ・室蘭市の施設へ視察に向かうとの事だったが、それに付随し、文化センターやスポーツセンターに似た施設も視察できれば良いのではと感じる。(遠軽の例など、それぞれのポイントに適した視察を行えると尚よい。)
- ・社会教育施設における利用者数の実績が示されているが、内訳として、純粋な市民の利用と、市外からの利用者内訳を知りたい。市民の利用はもちろんだが、市外からの利用者も重要視すべきであると、認識していく必要がある。

(〇〇委員)

- ・先ほど坂本委員も話していたが、テーマをどこに置くべきなのか、着地点を定める必要がある。
- ・子育て世代の意見も、もっと聞くべきではないか。
- ・多目的に作ると無目的になる可能性もある。市内の他施設においても、そのような傾向があるのではないか。この町はこれ。というテーマを持つことも重要である。
実際に、先日京都府舞鶴市の施設を見学したが、市と企業でJVしている事例があった。ホテルと公共施設が併設されており、公共施設利用に関する受付もホテルのフロントが兼務しているため、24時間の利用ができるとのことだった。
- ・旧留萌高校の再利用は考えているのか？

(〇〇委員)

- ・学校施設としては使うことはないと話している。現状では、社会教育施設としての利活用は考えていない。

(〇〇委員)

- ・やはり単品では難しいと感じる為、まちづくりのためにはバスターミナルと組み合わせるなど、複合的に検討していく必要を感じる。

(〇〇委員)

- ・道の駅は、開業してから駐車場が混雑しており、+αの機能として、シャワー施設等あればとの意見は聞く。公共施設との複合化みたいなこともあり得るのかと考えていた。

(〇〇委員)

- ・今後もこのような形で、検討会は進めていくのか？
- ・今回の検討会は、全体的にいろんな意見を出すという意味で開催していると思うが、今後は、話し合う分野ごとにワーキンググループのような、少人数で話し合う方がよいのでは。
- ・やはり、まちづくりとセットで考えていく必要があると感じる。今後20年、30年後の話については、今回の参加者が使うというより、若年層や主婦層の意見をもっと組み込めることが望ましい。

(〇〇委員)

- ・建て替え問題だけではなく、市民に対してどのようなアプローチをしていくのかは、共通問題である。また、話の根幹には、どのようなまちづくりをしていくのかという事がある。

(〇〇委員)

- ・これからは子供にやさしい街にしていく。等の目指すべき街の姿（目標）があれば検討できるがそこがないと難しい。

(〇〇委員)

- ・コンパクトシティにするにしても、ただ駅前に施設を集中させるだけではなく、ビジョンを市に検討してもらわないといけない。建てて終わりでは意味がない。

(〇〇委員)

- ・まちづくり全体を考えると、今回の議題である、社会教育施設の話ではなく、もっと大きな視点で考えなければならない。

(〇〇委員)

- ・中心市街地（商店街）なども今のままでよいのかという議論も必要となる。

(〇〇委員)

- ・プールについても、いくら民間に入ってもらっても、現在のようにになってしまう。民間施設を入れることも大事ではあるが、変な方向に行くと失敗してしまうこともある。
- ・船場公園も道の駅で起死回生となっているが、プールよりも犬（ドックラン）を取るのか等の話もあった。

(〇〇委員)

- ・辛口の議論をした方が良い。今までも公共施設の借金を払ってきたのだから、新たな切り口で考えていく必要がある。

(〇〇委員)

- ・だから、縮小していくのかということとそれも違う。交流人口も考えながら、検討していかなければならない。

(〇〇委員)

- ・将来性を考えて検討していかなければならない。今のホールをただ半分にすればいいというわけではない。現在は舞台の方が大きい、今後は人も少なくなる為あえて客席を狭め、舞台を大きくすることで市民参加型劇場とすることだって考えられる。東京藝術大学で研究している例もある。単に舞台を小さくすると呼べるものも限られてくる為、発想の転換が大事。ホールに限らず、スポーツセンターや体育館、学校だって、様々な考え方があると思う。今回の検討会に参加している20人の中にも様々なツテはあるのだから、活用していくべき。
- ・遠軽のホールは実費でも良いので、ぜひ視察したい。

(〇〇委員)

- ・社会教育施設を道の駅付近に持ってくるのがピンとこない。道の駅の活用方法として、それがよいのかどうか。道の駅の役割として、市外の人を呼び寄せる必要がある。

(〇〇委員)

- ・JRの関係もあり分からないが、駅周辺(中心部)に持ってくるのであれば、まとまった土地もない為、そのような考えになる。加えて、広場があることが社会教育施設を持ってくるうえで大きいと感じる。

(〇〇委員)

- ・市役所の建て替えについては、完全に見送るという事でないのであれば、お金が関係してくる為、難しいのは分かるが、再度議論すべきである。将来的に市役所の建て替えや移転の話は避けられないのだから、この機会と一緒に複合化の方が、むしろいいのではないかと感じる。
- ・社会教育施設のみでの複合化ではなく、そこに市庁舎機能も含めた複合化が望ましい。市役所にも子育て世代はたくさんいるのだから、そこに保育園等も併設することができれば、素晴らしい複合化になると思う。
- ・例えば、小さい病院が一緒であってもよい、複合化により効率的で使いやすい施設を作る事が重要である。小さい病院が一緒であってもよい、複合化により効率的で使いやすい施設を作る事が重要。その税金を負担するのは将来の人たちなのだから、若い世代の為にも2つ建てる借金よりも、1つ建てる借金の方が良いのではと考えてしまう。

(〇〇委員)

- ・単発で、古くなったから建て替えということではなく、いろんな意見を出してつぶしていくのが良い。

(〇〇委員)

- ・最初からできることだけを考えるだけでなく、なぜできないのか検討していく必要がある。

(〇〇委員)

- ・子育て世代の意見も聞くべきだから、検討会議の開催時間を再度検討する、もしくは、アンケートを幼稚園や保育園の保護者に配布して回答してもらうことも考えられる。

(以上)